

中山くんの縁談

作／工藤千夏

○登場人物

中三ぐん（後の堀部安兵衛／二十四歳） 奥田さん（口コバーンの友人） 奥田さん

奥田さん（中止ぐんの友人）／奥田孫太夫重盛（三十七歳）

市川菊（敵討ちの娘）
山下玄一郎（敵討ちの娘の生者）

山本玄八郎（敵説女）の娘の従者）
安藤加賀之助（武二）

安藤力賀之助（四十一）

○
七

一六九四年（元禄七年）春頃。

※高田馬場仇討ちは一六九四年一月十一日。その後ほどなくして。

高馬場

同日馬場の距

☆の台詞は重なる。

中山くんが、時間を気にしながら、待ち合わせ場所に立っている。玄八郎を伴つて、菊、登場。

はい。

あなたの名はなんと申すかと尋ねておる。

失礼なのは、そつちでしょ。だいたい、あなたどなたなんですか？

あ、奥田さん！

けで
も

菊、中山くんに斬り掛かる。巧みによける中山くん。

玄八郎

玄八郎 大丈夫じや。

奥田　えー！　なにこれ

菊、再び中山くんに斬り掛かる。巧みによける中山くん。

玄八郎 お菊さま！

玄八郎、大丈夫じゃ。

奥田 わーっ！ 待つて！ 待つて！ 人違いですよ。

奥田 卑怯者！ おぬし、中山に相違なかろう。

奥田 ☆そうですけど。

奥田 ☆ことば、変ですよ。

奥田 そなたも中山の手の者か。

奥田 手の者っていうか、ともだち、みたいな。道場一緒なんですよ。なつ。うん。

奥田 えーい、ほざかしい！

菊、また中山くんに斬り掛かる。巧みによける中山くん。

玄八郎 お菊さま！

玄八郎、大丈夫じゃ。

奥田 市川さん……の娘さん、でしたつけ？

奥田 いかにも。市川伝右衛門が娘、菊と申す。この者は、当家に仕える、

玄八郎 山本玄八郎と申す。

玄八郎、丁寧におじぎをする。中山くんと奥田さんも丁寧におじぎをする。おじぎが終わると、緊張状態に戻る。

中山くん、市川さんって存じ上げないんですけど。

菊 ☆そうなの？

中山 ☆この期に及んでなにを申すか！

奥田 いや、ホントに。申し訳ないけど。

玄八郎 父を斬った覚えがないと申すか！

中山 はい。

玄八郎 誠に覚えがないと申すか！

中山 はい。

奥田 もしかして、中山くんの十八人斬りで切られちゃった人？

中山 いかにも！ ほんとに？

玄八郎 えーい、覚悟！ 覚悟！

【S/E】

菊、また中山くんに斬り掛かる。巧みによける中山くん。この動きはスローモーション。実は、菊が中山くんの財布をすり、玄八郎に渡しているのがはつきり見える。

玄八郎 お菊さま！

玄八郎、大丈夫じゃ。

中山 ちょ、ちょ、ちょ、ちょっと待って。あなたのお父さんの市川さんは、本当にあのとき高田馬場にいらしたんですか？

奥田 なんで？ だってさ、八丁堀から高田馬場まで走る途中で、咽が渴いたって一升ひっかけてから駆けつけた訳でしょ？

中山 あり得ないでしょ。

奥田 そうお？

八丁堀からだと十キロ以上ありますよ。そんな状況で一升飲む人なんかいませんよ。

いやあ、だから、中山くんって凄いなって思ってたんだけどね。

ホント迷惑してるんですよ。イメージが一人歩きしちゃって。

ああ。

だいたい、奥田さん、僕がすぐ真っ赤になって寝ちゃうの、何度も見てるじゃな

いですか。

演技だと思つてた。

えー。

力モフラーージュ？

何を力モフラーージュするんですか？

その、中山くんが、酒豪である、という、事実を？

それ、僕になんかメリットありますか？

じゃ、行こうか。

えー、だからあ／

ちょっと、話もあるしさ。

なんですか？

おごるからさ。

…。

あのさ、中山くん、今つきあつてる人とかいるの？

いませんよ、そんなの。

そう。

なんですか、藪から棒に。

気になつてる子とかは？

特にいませんけど。

あ、そう。いやね、ある人に、中山くんをぜひ紹介して欲しいって頼まれちゃつ

てさ。

そういうの、いいです。

え、なんで？

だつて、どうせ、高田馬場のアレで……とかそういう話でしょ？

うん、そうだけど。

手紙とかも来るんですけど、そういうのはちょっと……。

手紙つてどれくらい来てるの？

百通はいってないですけど。

モテ期！

まあ一応。

カワイイ子とかいる？

手紙じゃわかんないですよ。

写真とか入つてないの？

入つてる子もいますけど。

連絡した？

しませんよ。

なんで？

なんでつて／

奥田 タイプじやなかつたの？

そういう問題じゃなくて
じゃ、なんで？

中山 奥田 結婚とか考えてないし。
そつなの?

だつて、僕、奥田さんと違つて、藩士じやないですから。収入安定してませんも

奥田 ん。
仕官の口とかいっぱい来てるんじゃないの?

それが、うまくいかなくて。
なんで?

田中君、最終面接までは行くんですよ。でも、十八人斬つてないって話すと、嘘つき呼ばば

奥田 十八人つてことにしとけば?
わりされて……。

中山 奥田 ソレダメでしょ。ああ。

奥田 ああ
中山 堀内先生の代稽古で、いろんな藩の江戸藩邸とかに行きますけど、ま、バイトみ

たいなもんですからね。それで家族養つたりはちょっと難しいですね。

中止です。
奥田 むらもと城後さんちか?

喜田　モロモロ、越後が、いり
中山　はい。おやじは新発田（しばた）藩でした。おやじ、火事の責任とらされて追わ

奥田 れた身ですから、土官は無理です。
伊予西条藩は何も言って来ないの?
それこそ、高田馬場の功績でさ。

中山 奥田 無理でしょ。菅野さんだけじゃなくて、村上庄左衛門も伊予西条藩ですから。
そつか。

中山 はい。

奥田　いへそやチ来る？
中山　奥田さんとこですか？

奥田 うん。
赤穂藩でしたつけ？

奥田　そう。播州赤穂（ばんしゅつあいの）藩。播磨の国ね。来ちやえば？

奥田 奥田さん一人で決められる話じゃないでしょ。それがさ、さっきの、中山くんを紹介して欲しいって人、堀部さんっていうウチ

の藩のエラい人なんだけど、ぜひ、
中山　いやあ、それはちょっと……。

奥田　なんで？

奥田 中山 たて うん。 それ その 塚部家の家督を て語つてやれ。

中三 奥田 無理無理無理無理。
なんで？

奥田　中止、僕、中止ですか。

奥田
中山
それは知ってるけど
中山の家を再興しないと。

奥田　中山　えー、
　　はい。　　そうなの？

奥田
中山
はい。
大変じやない、それ。

中山 姉がいますけど、もう嫁いります。

奥田 そつか。でも、どっちにしろ新発田藩は無理なんでしょう？
中山 どこの藩でもいいんですけど、とにかく再興しないと父も浮かばれませんから。
奥田 ジャ、中山のまんまでホリちゃんを嫁にもらって、で、赤穂藩に仕官して、堀部さんちに同居すればいいじゃない。

中山 ホリちゃん？

奥田 ホリっていうのよ、堀部さんとこの娘。

中山 ホリベホリ？

奥田 ホリベホリ？

中山 ホリベホリ？

奥田 (携帯を出して) 写真見る？

中山 いえ、いいです。ホリベホリ？

奥田 ほらほらほり。

奥田さん、見まことする中山くんに無理矢理写真を見せる。

中山 ……ああ。

写真は予想外に美人で、中山くんは実はちょっとうれしい。

奥田 ホリちゃんも、中山ホリになつた方が喜ぶと思うんだよね。
中山 でも、それだと、婿をとる意味がないでしょ。
奥田 まあね。

奥田 他の方にちゃんと継いでもらつた方がいいんじゃないですか？
中山 堀部さんもなかなか頑固な人でさ、一度言い出すときかないんだよね。
困ったなあ。

奥田 堀部安兵衛つて、こう大きく書いて、中山安兵衛よりかっこいいだろ、強そうだ
ろって俺に見せるの。

中山 マジですか。

奥田 とにかく、中山くんしかいないって。

中山 会つたこともないのに。

奥田 堀部さんはね。ホリちゃんと堀部さんの奥さんは、高田馬場の果たし合いのとき
に中山くんと話したつて。

中山 ホントですか？

奥田 うん。

中山 あのとき、たすきを忘れて、その辺に落ちてた荒縄を使おうとしたら、果たし合
いにお縄は縁起が悪いって、腰紐ほどいて貸してくれた女性がいたんです。

奥田 ホリちゃんだね。

中山 たぶん……お母さんの方だと思います。

奥田 ま、どっちでも。

中山 ……赤穂藩つて、どんな感じですか？

奥田 よっぱい感じかな？

中山 よっぱいんだ……。

奥田 赤穂といえば塩、塩といえば赤穂。

中山 ああ。

奥田 まあ、普通かな。

中山 ……普通。

奥田 奥田

中山 やつと普通になつたの。普通のありがたみを痛感する今日このじる、いかがお過

ごしですか？ みたいな。

中山 なんかあつたんですか？
奥田 気になる？ 気になる？

中山 奥田 いや／ すごいスキヤンダルがあつたのよ。でも、言うとあれかな？ 赤穂藩に来たくなくなっちゃうか。やめとくわ。

中山 奥田さんのが言い出したんじやないですか。

中山 奥田 んとね、昔、昔っていうか五十年くらい前？ 殿様が発狂して、正室を斬り殺しちやつたの。

中山 中山 えー！

奥田 奥田 いわゆる殿ご乱心ってやつ？ 正室だけじゃなくて、一緒にいた侍女も一、三人

スパーつ、スパーつ、スパーつ。

中山 中山 マジですか。

奥田 奥田 お取り潰しなんとか免れたんだけど、当然、殿様は改易だよね。

中山 中山 はい。

奥田 奥田 それで、全然関係ない常陸の国から、新しい殿様が来た訳。

中山 中山 そうなんですか。

奥田 奥田 で、その殿様が妙にやる氣出しちゃって、石高に見合わないチョー立派な城を十三年もかけて作っちゃつたのね。城下町もびしーって整備して、財政悪化の一途。もう武士も農民も、みんな食べるものがなくつてさ。

中山 中山 あー。

奥田 奥田 もう塩しか頼るものがないつて、塩をつくっては売り、塩を作つては売り。

中山 中山 あ。

奥田 奥田 相撲のときにさ、塩まくじやない？ あれ、うちの家老の大石さんが仕掛けたの

よ。電通と組んで。

中山 中山 嘘。

中山 中山 ……。

奥田 奥田 いや、塩で復興したのはホント。で、今は、その築城した殿様の孫、浅野内匠頭が三代目ね。三代目だから、ちょっとわがままなんだけどね。また、やつとこのごろ普通になりましたとさ。

中山 中山 なかなか大変な藩ですね。

奥田 奥田 まあね、どこも似た様なもんじょ。

中山 中山 奥田さん家つて、ずっと赤穂藩なんですか？

奥田 奥田 いや、元々は鳥羽（とば）藩。

中山 中山 鳥羽藩つて？

志摩国。

中山 中山 伊勢の方ですか。

奥田 奥田 そう。

中山 中山 なんでまた、赤穂に？ うちのおやじがね、俺が五歳のときに、二代目の殿様？ 今の殿様の母上のお輿入れで付き人として江戸に来て、赤穂藩の江戸藩邸に勤めたの。それ以来俺もこっち。

中山 中山 ああ。じゃ、親子で赤穂藩に。

奥田 奥田 それが違うの。おやじは今は浪人え、どうしてですか？

中山 中山 これもまたスキヤンダルなんだけどさ……気になる？ 気になる？

奥田 奥田 ちょうど十五年前に、鳥羽藩の殿様がご乱心で、丹後宮津藩の殿様を殺めちゃつ

てさ。家綱様のご葬儀の場だよ、あり得ないでしょ？

はい。

殿様も改易、おやじも浪人みたいな？

ああ。

奥田 僕は元服前に鳥羽藩から赤穂藩に移つてたから、温情でそのまま赤穂藩にいていいってことになつて。まあ、そんなこんなで赤穂藩には恩義がある訳よ。

中山 奥田さんも意外と苦労されてるんですね。

奥田 だからさ、中山くんみたいないい人材は、ぜひ赤穂藩に入れたいな、みたいな。

中山 お気持ちはありがた／

奥田 つくづく思うんだよね。殿様みたいな立場の人は、刀のさやに手かけたときに、これ抜いたらどれくらいの人に迷惑かけるか、ちゃんと考えて欲しいつて。

遠くでけんかしている犬の鳴き声が聞こえてくる。（裏にいる俳優が演じる）

奥田 お犬様がけんかしてらっしゃらあ。

犬のけんか、勝負がついて鳴き声が止む。

中山 大丈夫ですよ。殿ご乱心とかそんなの、人生にそう何度もある訳ないじゃないですか。

奥田 そうだよね。

中山 はい。

奥田 中山くんだつて、こんな天下太平の世の中で十八人も斬つたんだから、あとは平穏無事に暮らせるよ。

中山 だから、十八人斬つてないんですつてば。

笑い合ふ二人。

……奥田さん。

中山 どうしたの、あらたまつて。

奥田 大変申し訳ないんですけど、やつぱりその縁談、お断りさせてください。

中山 えーっ、どうして？

奥田 すみません。

中山 やつぱ、赤穂藩だとダメ

奥田 赤穂藩は大変魅力的です。

中山 婦養子がだめか。名前の問題なら、俺、堀部さんにちゃんと囁うよ。

奥田 いえ……。

中山 え、じゃ、俺？ 俺と一緒に藩つていうのがイヤ？

奥田 ……これ、何の為に差してくるんでしょうかね？

中山 え？

奥田 僕、もう刀、抜きたくないんです。

中山 中山くん……。

奥田 実は、武士を辞めようかなつて考えてるんです。高田馬場の一件以来、武士ってなんなか、よくわからなくなつちゃつて……。

奥田 ちょっと待つてよ。

中山 ま、辞めるつていつても、何をしたらいいか皆田見当もつかないんで、しばらく

奥田 くは寺子屋で手習いの師匠でもやりながら考えてみようかなつて。

奥田 剣術は？

今の世の中、剣術って役にたつんでしょうか？

どんな風に？

そういうんじゃなくて。

堀内道場の四天王がそんなこと言つたら、他の人は立つ瀬がないよ。

山 徳川の時代はなにでそれを百年であります。奥田さん、人斬ったことがありますか？

ない……かな。

中山 僕も本当に転てたのはこの前が初めてでした。転てた後なんか変な気持ちになりました。人を殺めたのに、そのあと、ご飯食べたり、風呂入ったり、誰かと話したりました。

て笑って普通に生活してるっていうのが、なんかホント変な感じで。戦とかなら、戦場と家が離れてるから、気持ちの整理がつきやすいんでしょうかね？

奥山　……。

中山 変でした。お母さんを殺めたのはほめられません。
僕は、菅野さんを守りたかっただけなのに……。

中山　たゞで、菅野さん死んじゃつたんで、すよ。
助けられなかつたんだから意味ないです。

奥田　でもさ、もし、相手がまだ全員生きてたら、中山くん、どう？

奥田 中山 どうぞ

中山 それは、まあ……。

中日興業の本拠地は、東京の新橋にあります。新橋駅から徒歩で約5分の距離で、駅構内には新橋口改札があります。

敵側に、三人分のダメージを与えたつていう事実を事実として受けとめようよ。

奥田　中ヨハんせよへやつた。檍野やんわ、草葉の陰で喜んでゐる所いふ。

中止……そう思えたら楽なんんですけど。

菊と玄八郎が逃げてくる。安藤、追いかけてくる。

卷之三

宋詩

顔を見合わせる中山くんと奥田さん。

四
四

菊中止
お助けください。

菊 実見
どうかお助けください。この男が、玄八郎が親の敵などと言いがかりをつけてき

たのじや。

安藤
陸奥国黒石藩藩士、安藤英之進の恨みせひやざにおへまつた。

だから、安藤英之進など知らないと申しておるであらう。のう、玄八郎。

安藤
三郎
いわいち
しらじらしい。父の敵、山本玄八郎！ 覚悟！ 覚悟！

安藤、玄八郎に刀を向ける。

菊 このような老人を斬るなどと、そなた、武士の情けというものがないのか。

菊、安藤をにらみつける。玄八郎をじっと見つめる安藤。

安藤……命だけは助けてやる。ただし、拙者に斬られたという証しになるものを置いていけ!

玄八郎、刀と財布を置く。

中山
あ
！

安藤
刀と賄石を三つ取る
至ハ郎
菊の元ハ

菊玄八郎

安藤、去るうとする。

中止あのお、その財布、ちよこと見せてもらっていいですか？たぶん、僕のじやな

奥田 安藤 信を曰く

安藤
山 満すまいぞ これぞ
正 そつていいつれてる。 山本玄バ郎の謡し

奥田 あの 伊詠ち詔口詞はお持たですか?

奥田 じゃあ、見せてください。

中山
みんなで番所行きましょうか？

奥田 なんか寺口が仇語を強盗へはいわれ
野のカゾ。

安藤、奥田さんに刀を向ける。

安藤
今、なんと申した？

安藤
今、なんと申した?

出者の九討ちを、出者の九討ちを……九討ち強盗など」と……。

安藤
井かね。おぬ
じやう

奥田 安藤
いや、別にそういうつもりじゃ……。
果たし合いじや。刀を抜け。

中山

安藤　ええい、いまいましい！

安藤、じりじりと奥田に迫る。

安藤　どういつもこいつも刀の鋒びにしてくれる。
玄八郎　待ちなさい。

安藤、動きを止める。

玄八郎　言い訳は致すまい。山本玄八郎、この白髪首、喜んで献上致す。（念仏を唱え始める）
菊　　玄八郎……。

安藤、ゆっくりと玄八郎を斬る体制に入る。

中山　安藤さん。
安藤　……。
中山　仇討ちの成功率ってどのくらいか知っていますか？
安藤　……。
中山　一%にも満たないんだそうです。
安藤　それがどうした？
中山　玄八郎さん。

玄八郎、念仏をやめる。

中山　玄八郎さんは、どのぐらい旅をしていらっしゃるんですか？

菊　　私と玄八郎は五年前に／＼

中山　あなたに聞いてるんじゃない。

玄八郎　……かれこれ、三十年になります。

中山　三十年ですか……三十年間。逃げている人と追いかけている人がいる。そんな長い間、人って、人を恨み続けられるものなんですかね？

安藤　仇討ちは恨みをはらすためのものではない。おぬし、武士のくせにそんなことも

わからぬのか。

中山　安藤さんも三十年つてことですか。

安藤　いかにも。兄に連れられて藩を出たのは、まだ元服したばかりあつた。それ以来故郷には戻つておらぬ。

中山　教えてください。そうまでして、武士でいなきやいけないんですか？

安藤、答えずに刀を構える。

中山　武士ってなんなんですか？

玄八郎、中山を一度見る。そして、また、念仏を唱え始めた。
中山くん、ゆっくりと刀を抜く。

い腕前であることがわかる。

【SE】 犬の遠吠えひとつ。

永遠に思える三十秒。

安藤、闘わずして負けを認め、ゆっくりと刀をおろす。息が切れている。

安藤もう追わぬ。だから、もう逃げるな。

玄八郎と菊、深くおじぎをして去る。

安藤失礼つかまつる。

安藤はおじぎをして、玄八郎と菊とは違う方向に去る。去る安藤を見つめる中山くんと奥田さん。中山くん、刀を鞘に納める。

奥田さん。

中山

奥田

ホリちゃんのことだけどさ、会うだけ会ってみない?
いやあ……。
ほんと、会うだけでいいから。合コン、みたいな軽い感じでさ。
あ、財布!
大丈夫大丈夫、おざるから。

M
犬の遠吠え。

了